

## 第2部 網走市の概況

## 資料2-1 市の気象概況

年次	平均海面気圧 (hpa)	気温 (°C)			平均湿度 (%)	降水量 (mm)		風速 (m/s)			日照時間 (h)	日照率 (%)
		最高	最低	平均		最大日量	合計	最大	風向 (16方位)	平均		
平成14	1,011.8	31.1	-16.3	6.7	72	52	850	15.8	北	3.3	1824.2	41
15	1,013.1	28.5	-18.3	6.3	72	61	670.5	16.1	北	3.2	2004.3	45
16	1,011.6	35.8	-14.2	7.7	70	40.5	768.5	18.7	南南西	3.4	1939.4	44
17	1,010.8	32.5	-16.9	6.9	71	37.5	767.5	20.8	北	3.3	1,915.8	43
18	1,012.7	32.4	-16.3	7.0	72	80.5	1,028.0	21.0	北	3.4	1,854.8	42
19	1,012.4	34.0	-12.8	6.9	72	36.0	674.5	15.8	北北西	3.2	1,912.1	43
20	1,012.8	30.6	-17.3	6.9	73	38.5	597.0	17.3	北	3.1	1,825.7	41
21	1,012.1	31.7	-13.5	7.1	72	43.5	905.0	19.4	北	3.3	1,687.3	38
22	1,012.2	35.5	-16.8	7.7	72	57.5	837.0	18.2	北	3.2	1,835.1	41
23	1,011.5	33.5	-17.4	7.1	74	101.0	915.5	16.2	北	3.2	1,938.6	44
24	1,012.6	33.6	-17.0	6.8	78	57.0	1,069.0	15.8	北	3.2	1,745.9	39
25	1,010.9	32.4	-17.8	7.0	77	85.5	973.0	18.9	北西	3.3	1,802.1	41
26	1,011.7	32.7	-16.2	7.0	74	86.0	956.5	18.2	北	3.4	2,032.2	46
27	1,012.2	33.8	-15.8	7.6	75	156.0	1,011.0	16.4	北	3.3	1,853.0	42
28	1,012.9	32.3	-16.7	6.8	74	100.0	1,206.0	15.3	北	3.4	1,934.0	43
29	1,011.0	35.1	-15.0	6.8	73	50.0	803.0	14.9	北西	3.2	1,848.3	42
30	1,012.5	35.2	-16.3	7.1	73	63.5	948.5	13.9	南	3.0	1,883.7	42
令和1	1,012.2	35.4	-19.8	7.4	69	45.5	688.0	15.3	北	3.2	2,002.8	45

資料：気象庁気象統計データより

## 資料2-2 過去の災害の記録

（令和2年3月31日現在）

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
明治31年9月 6～8日	暴風雨	水害、橋、農地に被害。浸水家屋1,594戸、流失潰屋215戸、溺死23人、畑被害1,700町歩。7日降水量84mm。
明治36年1月4日	暴風	沿岸高浪となり被害甚大。
明治42年4月 6～8日	融雪	道路損壊、橋梁流出、鉄道被害あり。
大正5年12月 28～29日	波浪	ポンモイ石垣破壊。建物全壊8、半壊35、流失33、床上床下浸水21。28～29日。降水量54mm。29日積雪6cm。
大正6年8月19日	ひょう	網走町付近被害約120ha。
大正8年9月 20～22日	大雨	死者、家屋流失、床上床下浸水等多し。
大正10年11月 3～4日	暴風雨	一時交通障害。築港一部破壊、建網流失被害多数。
大正13年5月 9～10日	暴風雪	積雪量多く、吹きだまり深い所120cm以上。家屋破壊、魚網、漁船の流失等被害大。
大正14年4月 24～25日	融雪・洪水	網走川はん濫、浸水家屋あり。
大正15年9月1日	ひょう	新栗履、フシコタン他3部落に降る。約60cm積もり、被害面積100ha。
昭和5年5月下旬	山火事	藻琴原野10,000ha焼失。
昭和5年11月 12～13日	大雪	通信施設に多くの被害。13日積雪44cm。
昭和7年7～9月	異常低温	9月の日照時間79.7は現在までの寡照の極値。
昭和10年8月 27～30日	大雨	国鉄被害 網走線2、網走川堤防決壊等被害あり。30日降水量107mmは日降水量の開設以来の記録。
昭和11年6月27日	ひょう	ひょうを伴う強風。中藻琴、稲富の一部では鶏卵大のひょうがあった。小麦650haの被害を始め被害総額15万円。
昭和12年12月 4～5日	強風	漁船座礁2、流失不明1。
昭和14年4～5月	融雪・洪水	網走川で融雪洪水。橋梁、道路、家屋、堤防等に被害。被害総額45万円。
昭和23年10月19日	暴風雨	網走地方暴風雨、サケ定置被害4,000万円。呼人リング被害120万円。
昭和24年11月17日	暴風雨	夜から朝にかけて降雪35cm。国鉄、電信電話混乱。増築中の卯原内中倒壊。
昭和25年11月 27～29日	暴風雪	国鉄不通。家屋倒壊等約1,000万円の被害。
昭和26年2月26日	土砂崩れ	5人死傷。
昭和27年3月4日	地震	十勝沖地震。平和橋倒壊。
昭和27年10月 21～22日	暴風	オホーツク海に強風、サケ定置網一部を除いて全滅。被害額13億円。

## 資料編 第2部 資料2-2 過去の災害の記録、資料2-3 網走川水系網走川洪水想定区域図（想定最大規模）

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
昭和29年5月10日	暴風雨	瞬間最大風速30mの強風。市内小中学校いずれも臨時休校。 農業被害3,954万円、漁業被害1,117万円、管内漁船5隻行方不明。
昭和29年8月 19～20日	大雨	台風による大雨で田畑浸冠水1,026ha。19日降水量56.8mm。
昭和30年10月14日	暴風	オホーツク海に暴風波浪、管内サケ定置網全滅、 被害総額1億9,000万円
昭和31年3月6日	地震	網走沖でM5.8。網走は震度3。 検潮器に津波は観測されたが津波による被害はなかった。
昭和32年5月 20～21日	大雨	網走川はん濫。被害あり。
昭和35年12月 25～26日	暴風雪	発達した低気圧による。船舶沈没3、湧網線・釧網線運休22。
昭和37年8月	台風	台風9号により網走市の農業被害額3億9,000万円。
昭和38年5月	強風	被害面積4,675ha。被害概算5,470万円。
昭和38年11月 8～9日	強風・ 波浪	サケ定置網等大破、被害総額約1億5,000万円。
昭和40年1月 8～9日	台風	真冬の台風。被害見積額3,500万円。
昭和40年9月 10～19日	暴風雨	台風23、24号により田畑冠水、道路、橋梁等被害。18日降水量58.9mm。
昭和41年6月 28～29日	大雨	台風4号により床上床下浸水、道路、橋梁等被害。29日降水量72mm。
昭和41年8月16日	強風	網走地方北部を通過した低気圧による。 床上浸水20、床下浸水12、鉄道冠水1か所。最大1時間雨量33mm。
昭和42年6月	大雨	市内、畑地埋没、冠水等の被害面積522ha（流失・埋没19、浸水485、 冠水48）。被害総額370万3,000円、河川決壊1。 6月降水量209mm（平年より144mmも多い）。
昭和42年6月 13～14日	強風・ ひょう	寒冷前線の通過により農作物被害あり。13日降水量10mm。 （3時間程度で）土砂採取地がくずれ死者1。13日～14日降水量87mm。
昭和42年11月4日	地震	23時30分震源弟子屈町付近。震度4。
昭和44年8月1日	大雨・ 雷	気層の不安定により西網走農協地区ビール麦1,153ha、田畑2,000haに 被害。河川増水1、床上浸水14、床下浸水29、民家避難5、郊外道路8、 一部流失。農作物被害280ha。
昭和48年6月17日	地震	北海道全域と東北・関東の太平洋岸に強い地震。網走は震度4。
昭和49年8月14日	豪雨	車止内川はん濫37戸に浸水被害。
昭和49年11月 8～9日	波浪	低気圧による。網走港灯台一部破損被害300万円。
昭和49年11月24日	高波	網走商港で高浪、釣人5人さらわれる。1人死亡、4人不明。
昭和50年5月1日	融雪	網走川、異常水位1.8mとなり、網走湖畔に被害続出。 床下浸水9、床上浸水35。行方不明等多数被害あり。
昭和50年5月17～ 18日	大雨	大雨（82.5mm）で家屋浸水、崖崩れ等の被害。
昭和51年11月1日	強風・ 波浪	低気圧により漁船沈没1。人身事故・行方不明2。
昭和54年10月20日	台風	台風20号により被害多数。最大瞬間風速37.4mは气象台開設以来最高。

資料編 第2部 資料2-2 過去の災害の記録、資料2-3 網走川水系網走川洪水想定区域図（想定最大規模）

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
昭和56年7月19日	土砂崩れ	潮見地区で土砂崩れがあり、市道学園通線（通学路）が30m流される。農業被害（麦類）9ha5,008万円。道路法面崩壊等610万円。
昭和56年8月5日	台風	台風12号による大雨により非住家被害。全壊1、半壊8、被害額150万円
昭和56年8月23日	台風	台風15号で藻琴小中学校他2校の屋根が吹き飛んだ他、農業に被害発生。被害額は、農業被害1,409万円、住家被害5,000万円。
昭和56年9月12日	高波	低気圧通過に伴う大しけ。マス小型定置網38ヶ所8,500万円被害。
昭和57年8月29日	大雨	緑町沢の山腹が幅30m、長さ15mにわたり崩壊300万円。
昭和57年11月25日	暴風雪	漁船転覆3件230万円。サケ定置網3件1,700万円。 市内小中高校繰上げ下校。
昭和59年8月8日	がけ崩れ	向陽通学路が幅10m、長さ5mにわたり崖崩れあり。
昭和61年9月4日	大雨	道道網走公園線でがけ崩れ。雨量73.5mm。
昭和61年10月23日	大雨	中央小学校グラウンド及び法面に被害。 土砂流出150 擁壁倒壊等5m等被害額2,000万円。
昭和62年9月4日	強風	台風12号崩れの強風により網走支庁管内の農作物2,723haに被害。
昭和63年10月31日	暴風雨	前日から台風並に発達した低気圧暴風雨（最大瞬間風速33.6m）が、50年に1度の猛威をふるう。 網走港被害6億9千万円、定置網はほとんど全滅。 市は直ちに対策本部設置。
平成元年7月10日	豪雨	集中豪雨で呼人の9戸床上下浸水。
平成3年2月 16～17日	暴風・雨雪・波浪	網走港防波堤の一部が破損。
平成4年9月12日	台風	台風17号の影響で、夜半豪雨各地で被害（増水により国・道・市道各地で寸断、釧網線・石北線不通、畑の冠水等未曾有の災害）、1日降水量163mmは観測史上初の記録、市は災害対策本部設置。 市内の被害総額53億円超える。
平成4年9月26日	大雨	台風19号くずれの大雨で一部の道路通行止め、錦町若草団地の45世帯避難。
平成5年1月15日	地震	釧路沖でM7.8の大地震発生。網走は弱震（震度3）。水道管3ヶ所破損。
平成6年10月4日	地震	根室東方沖を震源とするM7.9の地震発生、網走は震度4の中震で道路、水道管等に被害。
平成10年8月 27～29日	大雨	大雨により、道路41路線の崩壊等で4,400万円被害。
平成10年9月16日	台風	台風5号の影響で道路、河川及び畑地冠水により農作物、農業施設に被害発生。港湾、公園学校施設等の公共施設に被害発生。 被害額 1億5,820万円。
平成13年9月 9～13日	台風	秋雨前線及び台風15号により被害発生（総雨量213mm）。 道路、河川崩壊により通行止め2路線を含み被害額2億7千万円。 港湾埠頭泊地の埋そく被害額4億2,300万円。 農業被害面積 80.65ha、被害額5,800万円一部床上浸水1ヶ所。
平成14年7月 10～12日	台風	台風6号接近に伴い警戒態勢をとったが、被害はなかった。

資料編 第2部 資料2-2 過去の災害の記録、資料2-3 網走川水系網走川洪水想定区域図（想定最大規模）

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
平成15年6月 4～5日	強風・霜	最大瞬間風速27.9m/sの強風及び最低気温3.5℃の霜の影響により、市内全域の畑作農家において、豆類、馬鈴しょ、根菜（ごぼう）を中心とした被害。被害面積605ha、推定被害金額1億590万円。
平成15年8月 9～10日	台風	台風10号の影響により、市内道路及び河川に被害。被害総額1,210万円。
平成15年9月26日	地震	釧路沖を震源とするM7.8の地震が発生（網走は震度3）、その後十勝沖で余震発生（網走は震度1）。市内各所において、地震による漏水と思われる軽微な被害あり。
平成16年1月 14～16日	大雪・暴風雪	猛烈に発達した低気圧による暴風雪（網走の最大瞬間風速32.8m/s）で網走管内では記録的な大雪、海上は大しけとなった。この影響で、交通障害が発生した他、網走港、農・漁業関係の被害や、市内各所において停電・電話の故障が報告された。被害総額は6億6,224万円。
平成16年2月 22～23日	大雪・暴風雪	発達した低気圧により、84cmの降雪、30.3m/sの最大瞬間風速を記録。ビニールハウスが全壊する等の農業被害（被害額960万円）。
平成16年8月2日	集中豪雨	早朝からの集中豪雨により、床上浸水や道路・畑に被害。被害総額は124万円。
平成16年9月 7～9日	台風	台風18号の影響により、最大瞬間風速37.5m/sの暴風を観測。住家において、屋根等が破損した他、農業・水産被害や、倒木・電柱の倒壊、停電や火災が発生する等の甚大な被害が発生。被害総額2億2,273万円。
平成16年12月5日	暴風雪・波浪	新港地区小型船だまりの護岸が被害を受けた他、第2物揚場の縁石が波により破損。被害総額417万円。
平成17年9月 7～8日	台風	台風14号が接近。大雨・洪水・強風・波浪・洪水警報が発令され、警戒態勢をとったが、被害はなかった。
平成17年12月26日	暴風雪・波浪	市内路線バスが止まり、JRも遅れる等公共交通機関に乱れ。藻琴橋付近で大型トレーラーを含む玉突き事故発生。（けが人7名）
平成18年2月27日	強風	強風によりビニールハウスが破損する被害。
平成18年8月 18～19日	大雨	大雨により河川・道路の被害の他、畑が冠水する等の農業被害。
平成18年10月 7～9日	暴風雨	低気圧による荒天で、雨漏り・ドア破損等の住家被害、倒木や路面崩壊等の土木被害、漁具や港湾施設の被害や畑冠水等の農業被害が発生。被害総額1億2,579万円。
平成18年11月15日	地震	千島列島を震源とする地震が発生、津波警報が発令され、8箇所の沿岸地域に対し避難勧告を発令（4,120人、2,050世帯）し、災害対策本部を設置。網走港の潮位が20cm上昇したが、警報が注意報に変更されたため、避難勧告も解除。
平成19年1月6日	波浪・高波	低気圧による波浪・高波で、港湾区域において、防波堤決壊等の被害。被害金額750万円。
平成19年1月13日	地震	北西太平洋を震源とする地震が発生、津波警報が発令され、8箇所の沿岸地域に対し避難勧告発令（9,417人、4,145世帯）。微弱な津波を観測したが、警報が注意報に変更されたため、避難勧告も解除。
平成19年7月23日	大雨	大雨により道路の冠水、床下浸水等の住家被害発生。その他、能取港町において停電や畑の被害。道路の被害金額1,050万円。
平成20年2月23日	暴風雪	暴風雪により営農施設（ビニールハウス）に被害。被害総額243万円。

資料編 第2部 資料2-2 過去の災害の記録、資料2-3 網走川水系網走川洪水想定区域図（想定最大規模）

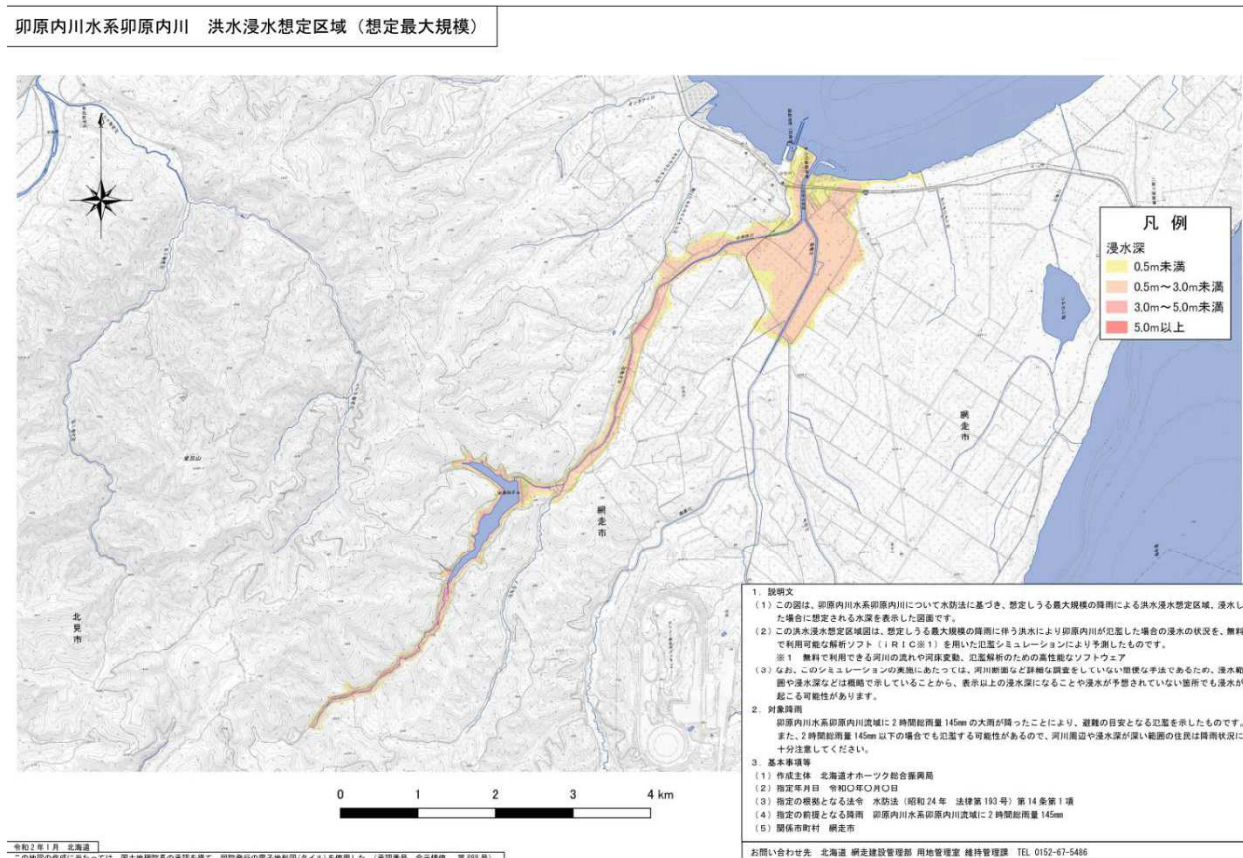
年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
平成20年4月1日	大雪	大雪によりビニールハウスのビニールが破損する被害。
平成20年6月11日	大雨・雹	大雨により路肩崩壊等の道路被害や降雹による農作物への農業被害発生。被害総額10億3,265万円。
平成21年7月27日	大雨	大雨により路肩崩壊等の道路被害や崖くずれによる被害発生。被害総額527万円。
平成21年9月16日	大雨	大雨により道路の冠水、床下浸水等の住家被害、崖くずれによる被害発生。被害総額703万円。
平成21年10月 8～10日	台風	台風18号が接近。暴風・波浪警報、大雨・洪水・高潮注意報が発令され、警戒態勢をとったが、被害はなかった。
平成22年8月13日	大雨	前線と台風4号の接近に伴う大雨により、法面流出等の被害発生。
平成22年9月10日	雹	網走西部地区において、降雹による農作物への被害発生。
平成23年3月11日	地震	三陸沖を震源とする地震が発生、津波注意報が発表されたが、特に被害はなし。
平成23年6月 10～11日	大雨	大雨により法面崩壊等の道路被害発生。被害総額2,968万円。
平成23年9月2日	大雨	大雨により法面崩壊等の道路被害発生。被害総額1,770万円。
平成24年7月31日	大雨・雷	大雨により法面崩壊等の道路被害発生。被害額4,430万円。網走西部地区において、降雹による農作物への被害発生。
平成24年8月26日	大雨	大雨により法面崩壊等の道路被害発生。被害総額1,350万円。
平成25年3月 2～3日	大雪・暴風雪	発達した低気圧の影響による猛烈な吹雪により、国道、道道、市道の通行止めや視界不良により立ち往生する車両が発生し136名避難、1名死亡。
平成25年8月 12、20、24日	大雨	短時間による強い降雨や強風により、寒水被害や法裏面崩壊等の道路被害等発生。
平成26年5月 16日～17日	大雨・強風	大雨により道路法面の崩壊等、港湾施設等の被害発生。
平成26年10月 8～9日	大雨・洪水・暴風	台風から変わった低気圧により床上浸水1件、床下浸水2件等の住家被害、法面崩壊等の道路被害、圃場被害等発生
平成26年12月 17～18日	暴風雪・大雪・高潮	数年に一度の猛吹雪により、国道、道道、市道の通行止めや大雪による立ち往生する車両、倒木による停電、港湾施設の上屋シャッター等の破損等発生。網走地方気象台では、「数年に一度の猛吹雪になる恐れがあります。外出は控えてください。」というキーワードを用いた気象情報をはじめて発信。
平成27年1月 31日～2月2日	暴風雪・波浪	暴風雪により国道、道道、市道の通行止めや視界不良による立ち往生する車両が発生。延べ3人が消防団詰所等に避難。
平成27年2月 15～16日	暴風雪	暴風雪により国道、道道、市道の通行止めや視界不良による立ち往生する車両、大型バスが発生。延べ16人が消防団詰所等に避難。
平成27年3月2日	暴風雪	暴風雪により国道、道道、市道の通行止めや視界不良による立ち往生する車両、大型バスが発生。一時避難者がエコーセンターで最大165人。

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
平成28年1月 19～21日	暴風雪・ 大雪・波 浪	暴風雪により農業施設(ビニールハウスの損壊等)
平成28年8月 19日～23日	大雨・ 洪水・ 暴風	停滞した前線に向かって暖かく湿った空気が流入したため、断続的に雨が続き19日15時から23時12時までの総降水量211mmを観測した。床下浸水5件の住家被害が発生、また、道路、河川、港湾施設等で被害が発生し、応急対策費65,488万円
平成30年9月 6～7日	地震	6日3時7分北海道胆振東部地震(マグニチュード6.7、震度7、網走市は震度1)、発生、直後に北海道全域が大規模停電(ブラックアウト)となった。市では、避難所10箇所、給水所4箇所、携帯電話充電施設3箇所を開設、道路で信号機がつかなくなるなど、交通、医療、商工農林水産業など、2日間にわたり住民生活に大きな影響を及ぼした。 大手電力が管轄する地域のすべてで停電が起こる現象、いわゆるブラックアウトは日本初のことであった。

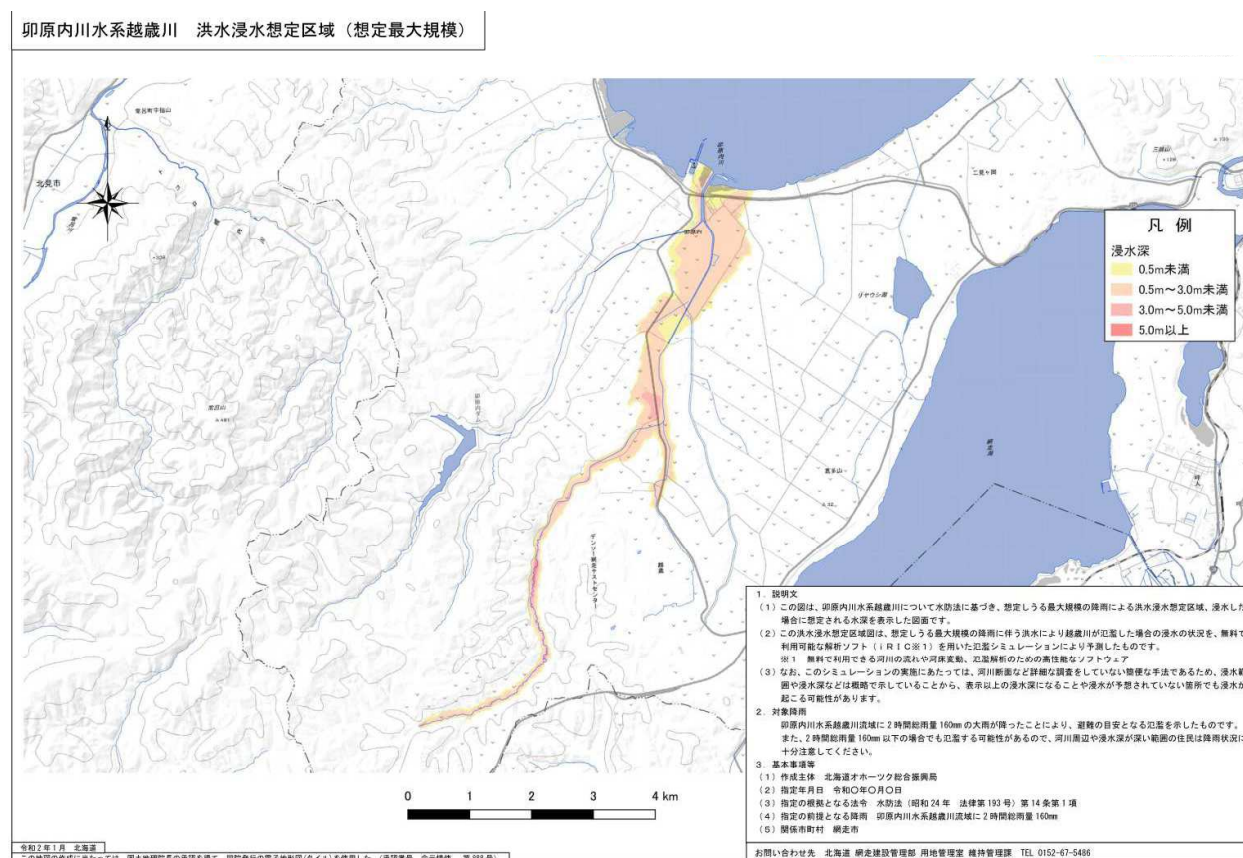
## 資料2-3 網走川水系網走川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



資料2-4 卯原内水系卯原内川洪水浸水想定区域（想定最大規模）



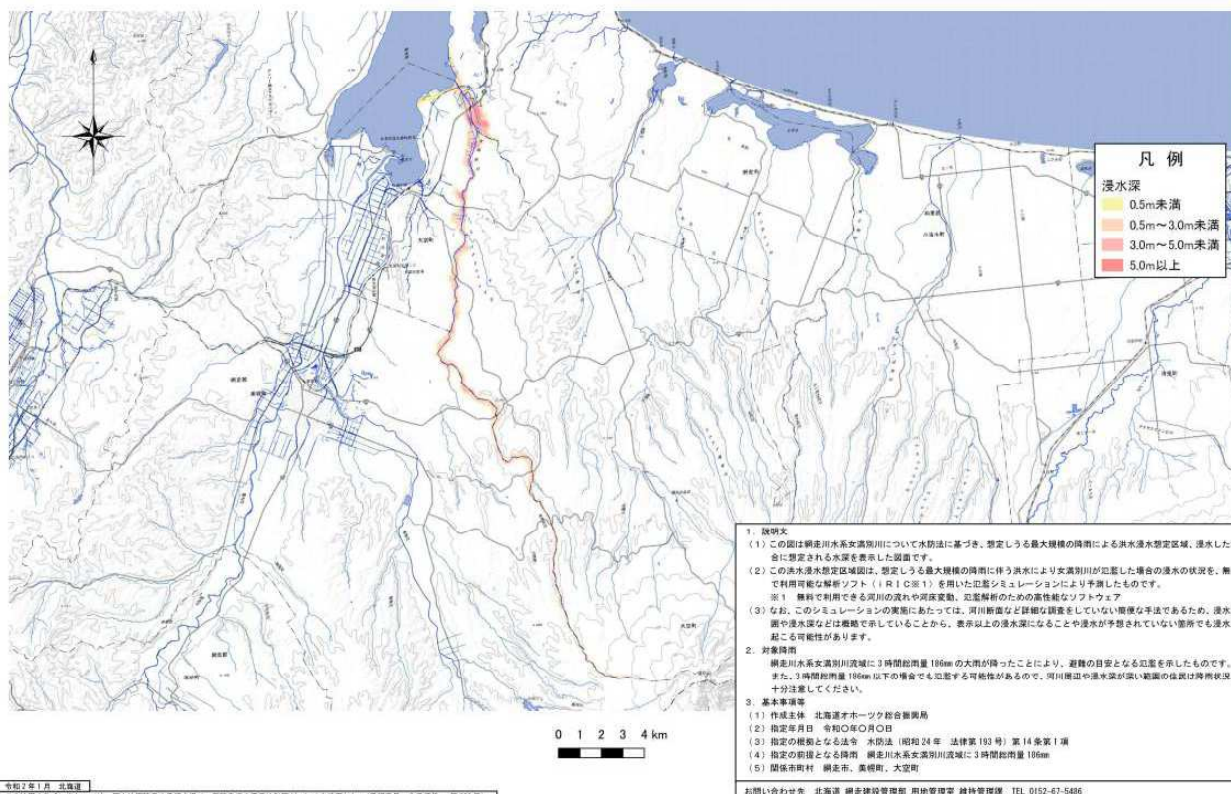
資料2-5 卯原内川水系越歳川洪水浸水想定区域（想定最大規模）





## 資料2-6 網走川水系女満別川洪水浸水想定区域（想定最大規模）

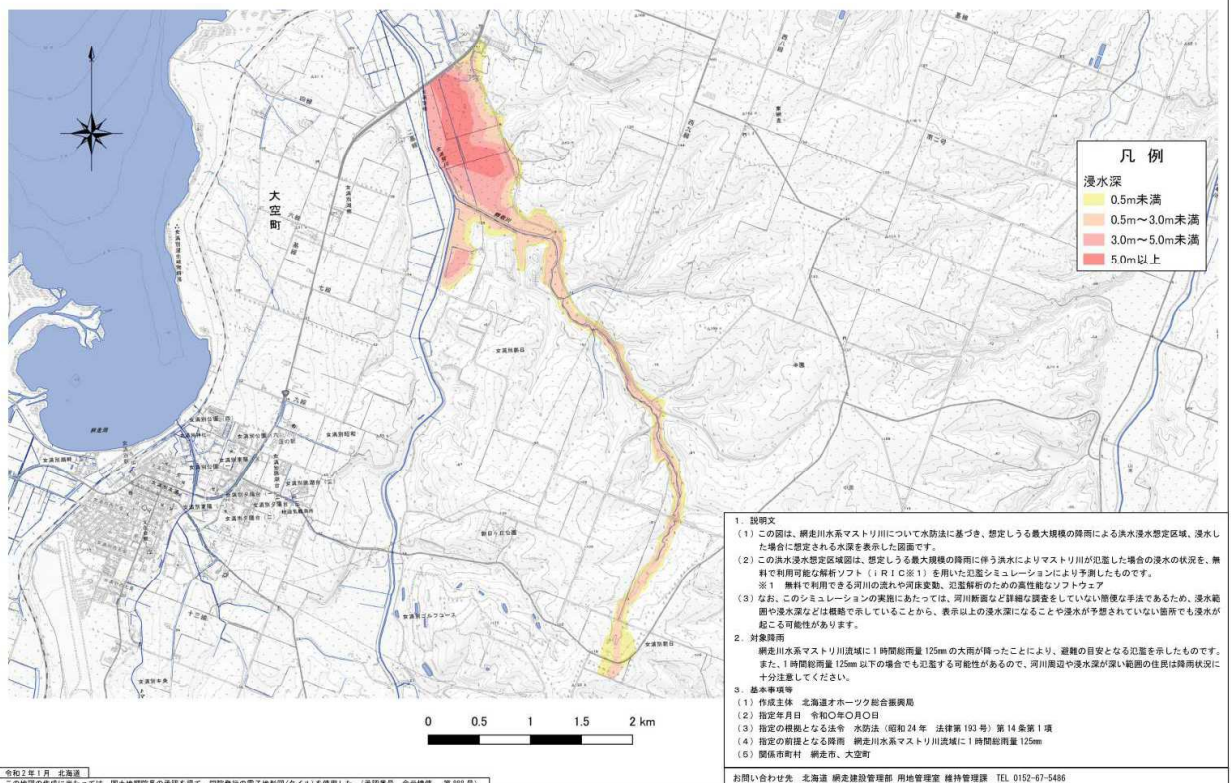
網走川水系女満別川 洪水浸水想定区域（想定最大規模）【全体】



令和2年1月 公表済  
 この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、関係発行の電子地形図（タイル）を使用した。（承認番号 令和08年 第088号）

## 資料2-7 網走川水系マストリ川洪水浸水想定区域（想定最大規模）

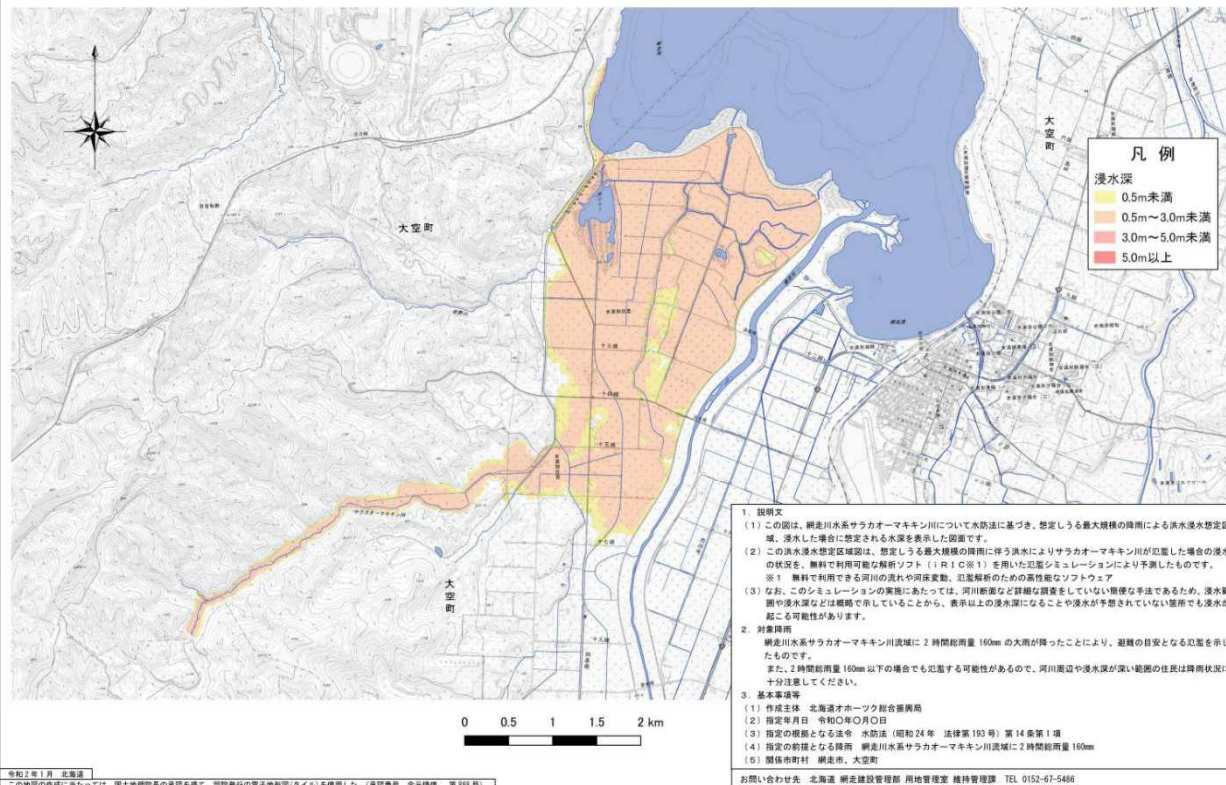
網走川水系マストリ川 洪水浸水想定区域（想定最大規模）



令和2年1月 公表済  
 この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、関係発行の電子地形図（タイル）を使用した。（承認番号 令和08年 第088号）

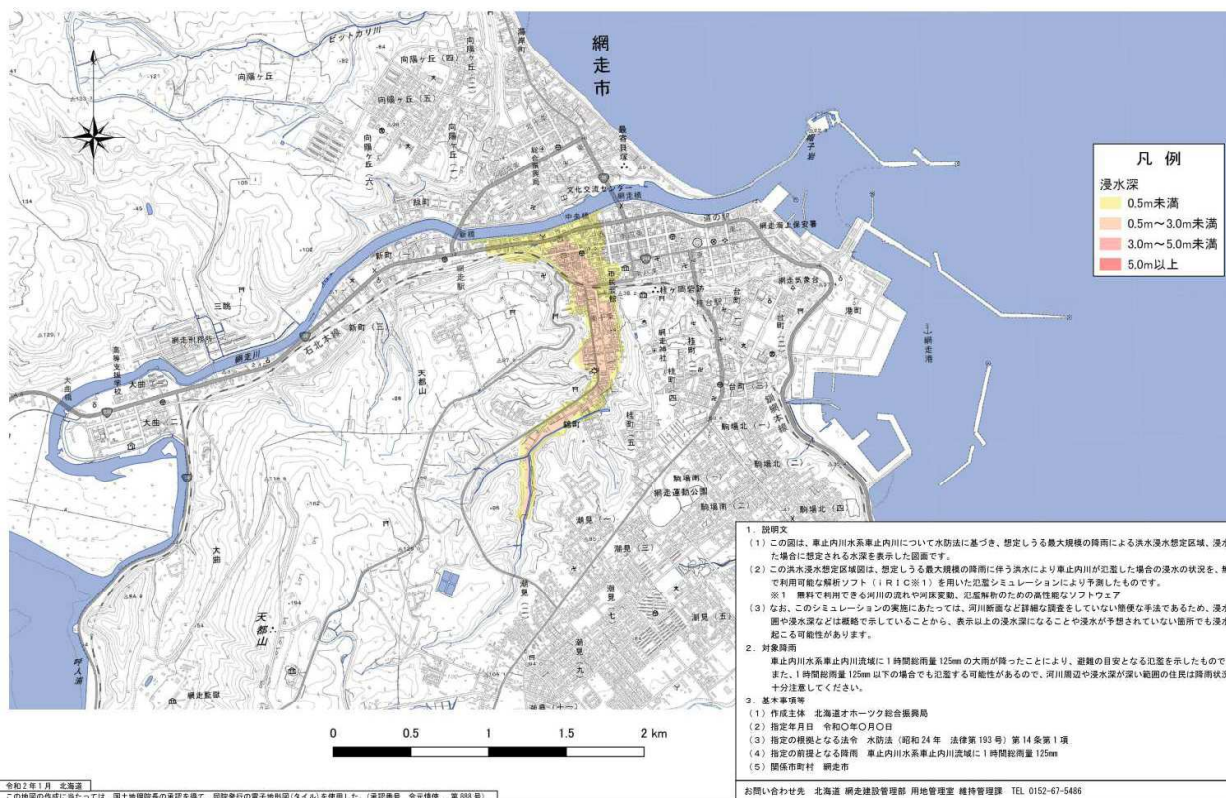
### 資料2-8 網走川水系サラカオーマキン川洪水浸水想定区域（想定最大規模）

網走川水系サラカオーマキン川 洪水浸水想定区域（想定最大規模）



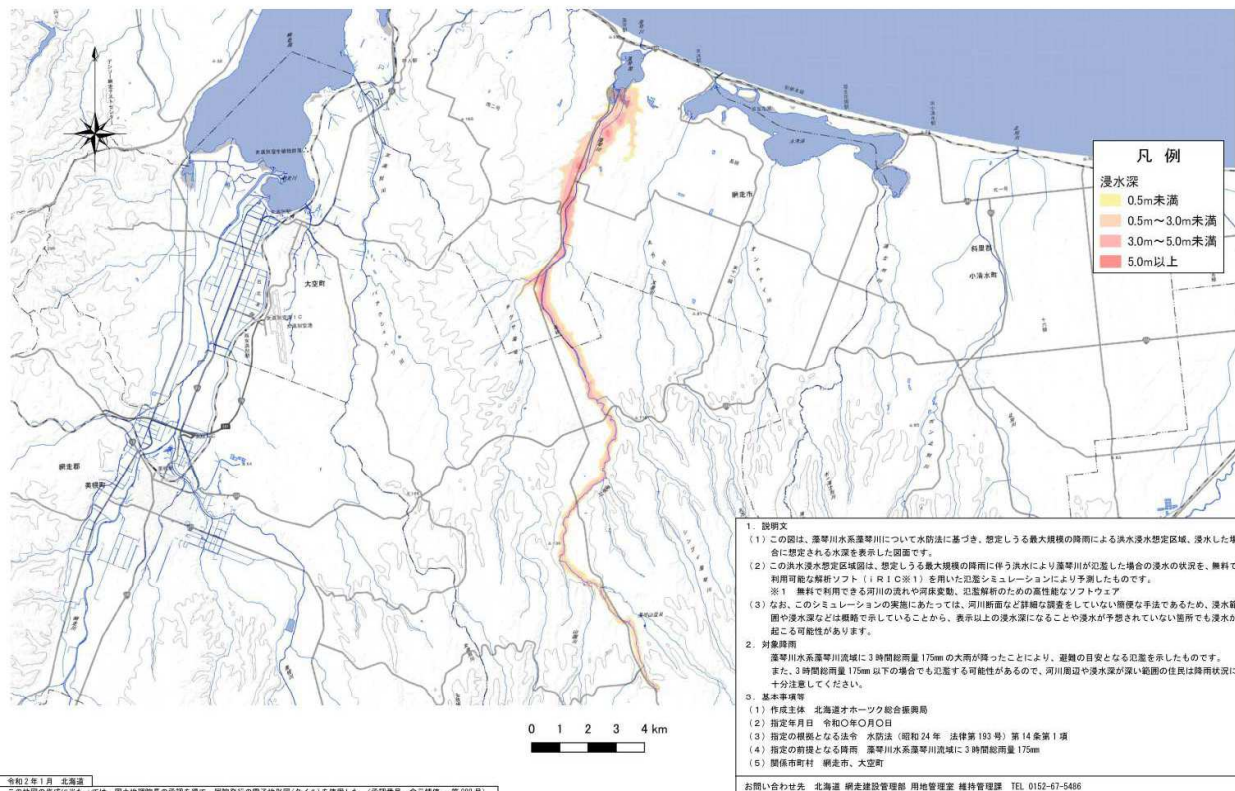
### 資料2-9 車止内川水系車止内川洪水浸水想定区域（想定最大規模）

車止内川水系車止内川 洪水浸水想定区域（想定最大規模）



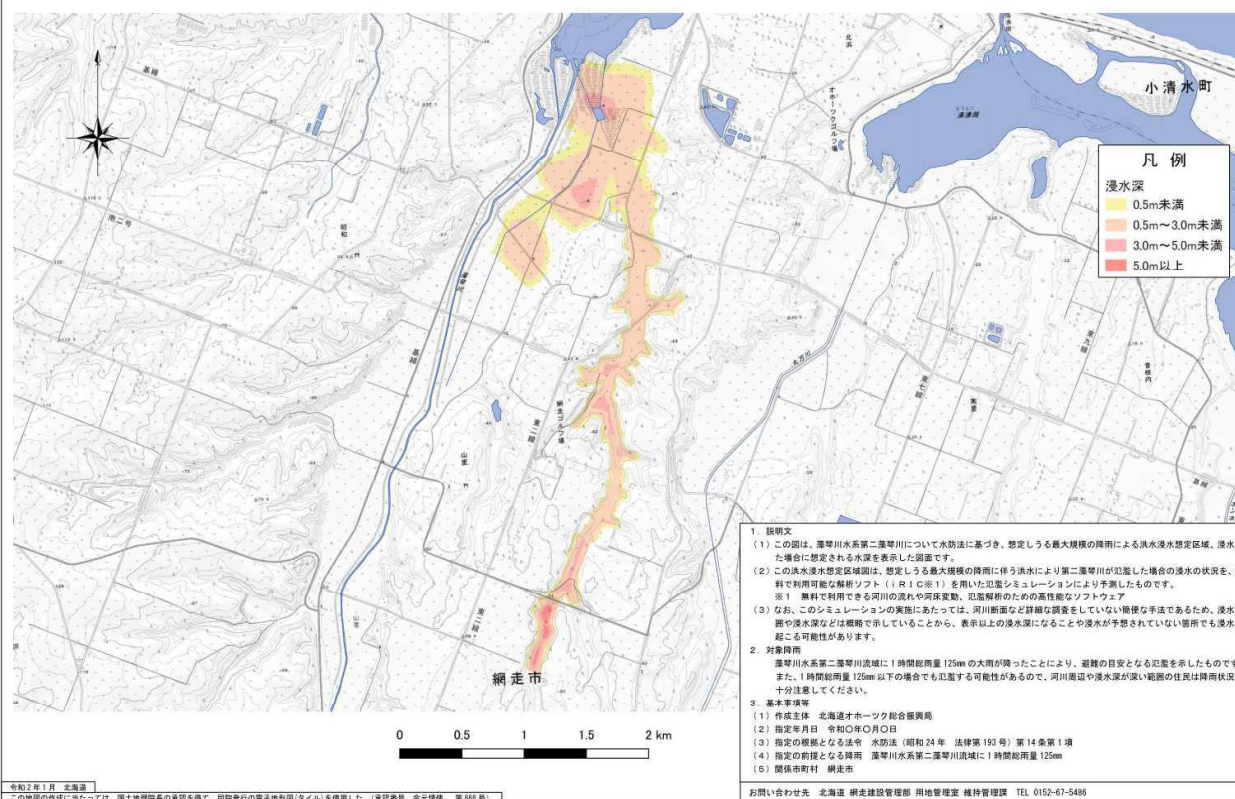
## 資料2-10 藻琴川水系藻琴川洪水浸水想定区域（想定最大規模）

藻琴川水系藻琴川 洪水浸水想定区域（想定最大規模）【全体】



## 資料2-11 藻琴川水系第二藻琴川洪水浸水想定区域（想定最大規模）

藻琴川水系第二藻琴川 洪水浸水想定区域（想定最大規模）



資料2-12 浦士別川水系浦士別川洪水浸水想定区域（想定最大規模）

浦士別川水系浦士別川 洪水浸水想定区域（想定最大規模）【全体】

